

均平で被害軽減!! 千葉県ジャンボタニシ対策



ジャンボタニシ
(スクミリンゴガイ)



ジャンボタニシの卵塊
(1頭の年間産卵数は3,000個以上)

ジャンボタニシ対策は均平から!



左:ほ場が均平(被害ゼロ)

右:ほ場がでこぼこ(深いところが食害されている)

ほ場が均平なら、貝がいても、隣に大発生のは場があっても、被害はゼロ!

あきらめずに、**STOP! ジャンボタニシ被害!**

ジャンボタニシ対策は「総合防除」 (複数の対策の組み合わせ)が基本!

【春】侵入防止

- 水路で越冬した貝がほ場に侵入しないよう、ネットや金網を取水口に設置しましょう!
- 網の目が細かすぎると、枯草などのごみが詰まりやすいので9mm程度の網目がおススメ!
- 被害に直結する大きな貝の侵入を防ぎ、ネットをすり抜ける小貝は浅水管理や農薬散布を併用!



【田植え時】食害防止(どちらか選ぶ)

浅水管理

水深が浅いと貝の活動が抑制されるため、田植え後約3週間、水深を4cm以下(理想は1cm)に維持しましょう。

農薬散布

使用にあたっては、表示された使用方法等を必ず確認しましょう。水温が15℃以上になり、貝が触角を出して活発に動いている姿を確認してから散布しましょう。

※苗が5葉期以降になると、食べられにくくなります。

それまでの間、浅水管理をしたうえで、貝の発生が多いほ場は農薬を併用して食害を防ぎましょう。



【秋・冬】越冬防止

冬期の耕うん

物理的に貝を破壊する効果と、土から出して寒さにあて凍死させる効果があります。

※回転速度PTO2、時速1.4km以下で耕うんすることで、殺貝効果UP! 耕うん回数を重ねるごとに生存貝率は低下します。最も殺貝効果が高いのは、地面が固く締まっている1回目の耕うんです。「最初の1回だけ」「被害の多いほ場だけ」など限られた範囲だけでも、回転は速く・スピードは遅くで耕うんをしましょう。



【冬】水路の泥上げ

常に水や泥がある水路は冬でもあたたかく、越冬に最適な場所です。1~2月に泥上げし、掘り上げた泥は、ほ場に入らないよう、薄く広げて貝を寒風にさらす、又は潰すなどして、生き残らないように処理します。



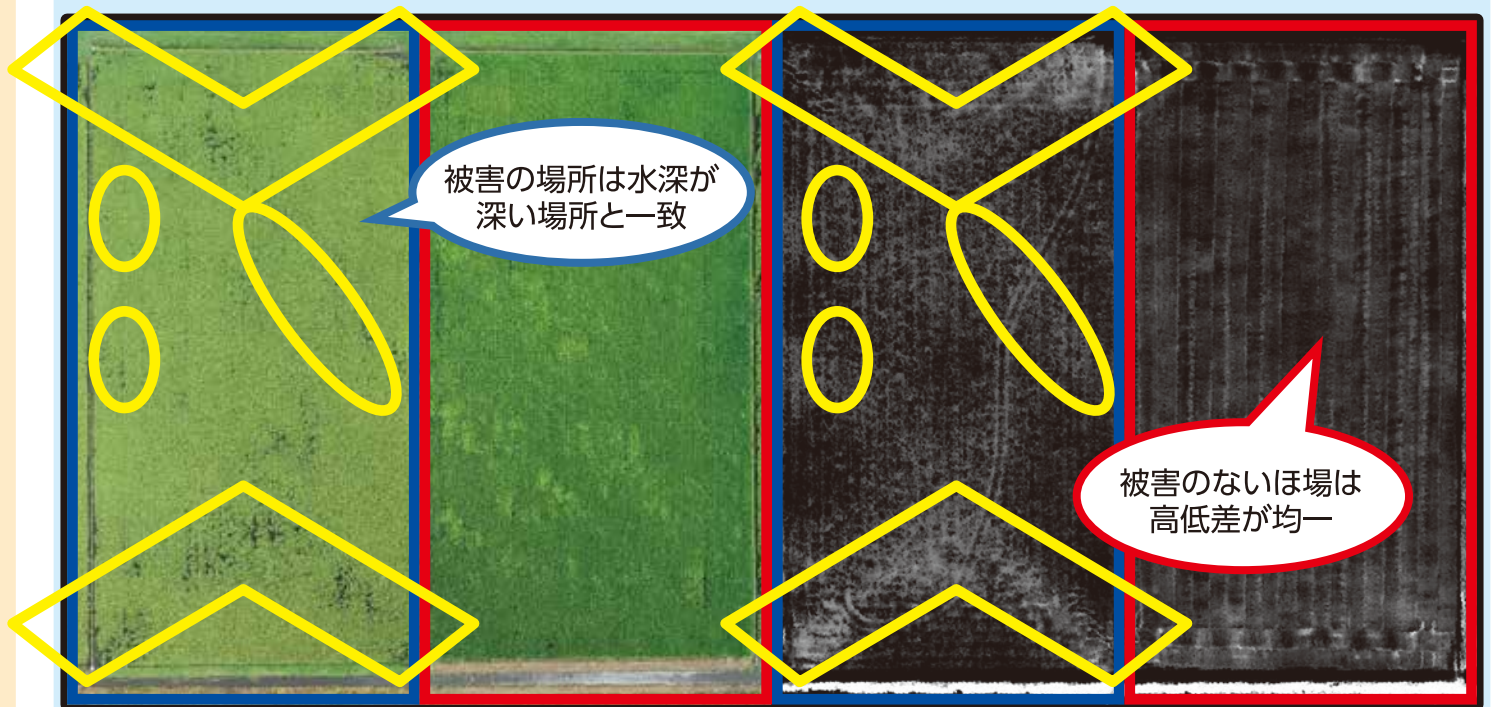
特に均平+浅水管理がオススメ!

Bほ場(被害多)

Aほ場(被害少)

Bほ場(でこぼこ)

Aほ場(均平)



被害の場所は水深が深い場所と一致

被害のないほ場は高低差が均一

被害は水深が深い場所に集中します。

均平だと貝が分散してまとまった欠株にならず、被害を抑えることが可能です。また、均平にすると肥料や除草剤も均一に効き、生育も揃い、利点ばかり!

どうしてV字模様に深くなるの?

コンバインの使い方が均平度に影響を及ぼしている場合があります。

V字模様は収穫後の田面にあるコンバインの操作跡に酷似!

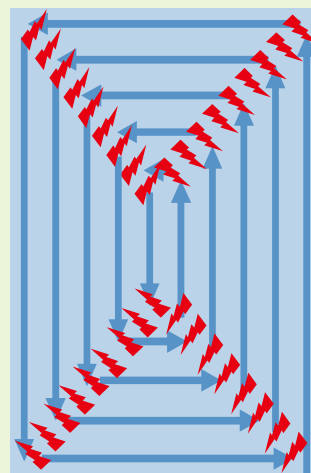
4辺を刈り取る方法では、クローラーの切り返し部分は低くなり、刈り始めには稲わらが落ちず土が固まってしまう。

一方、切り返しを減らす方法では、特定の部分の土が固まったり沈んだりせず、ほ場全体が均平になりやすくなります。

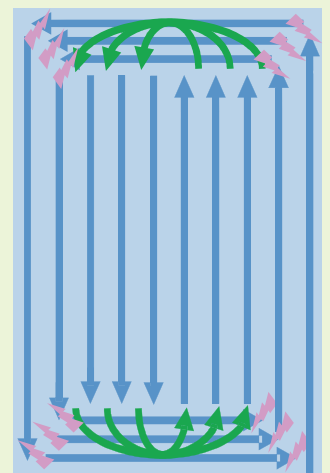
日ごろの作業を丁寧に行うことも有効です!



稲刈り後にできるV字模様



4辺を刈り取る方法



切り返しを減らす方法

→ 刈り取り作業

↻ 切り返さず旋回

⚡ 乱暴な切り返し

↻ 穏やかな切り返し

どうやって均平にする??

水を張った時や、田植え後1か月程度の被害がよく見える時に、土が高いところと低いところを記録しておきます。

冬期にレーザーレベラーや、フロントローダー、整地キャリアなどを使って、高いところから低いところへ土を移動させます。



レーザーレベラー



フロントローダー



整地キャリア

仕上げに、代かき時に水深を確認しながら均平にします。

ただし、水を張った状態だと思ったより土は動かず、また、土を練りすぎてしまうため、部分的な土の移動にとどめます。



代かき整地

新たな場所にジャンボタニシを放すことは、 絶対にやめてください!

千葉県は気候が温暖で、ジャンボタニシは県内どこでも越冬することができます。一度定着すると根絶は難しくなります。



ジャンボタニシ対策として「ツバキ油粕(ツバキ油、 椿サポニン、ツバキの種子)」を使用しないでください!

農薬取締法において、ツバキ油粕は、「資材の原材料に照らし、使用量や濃度によっては農作物等、人畜及び水産動植物に害を及ぼすおそれのあるもの」に指定されており、貝の防除には使用できません。



【お問合せ】

農林水産部安全農業推進課 043-223-2773 または、所轄の農業事務所まで